

(3) 下田小学校区

① 地域の概況

町の南西に位置する下田小学校区は、南は五戸町、西は六戸町と隣接し、奥入瀬川や国道45号が地区内を横断し、東北新幹線が南東から北西に斜めに走っています。古代には阿光坊古墳群が形成され、現在も古くからの「ムラ」の雰囲気を残し、国道45号沿道や下田小学校周辺には既存集落が形成されています。

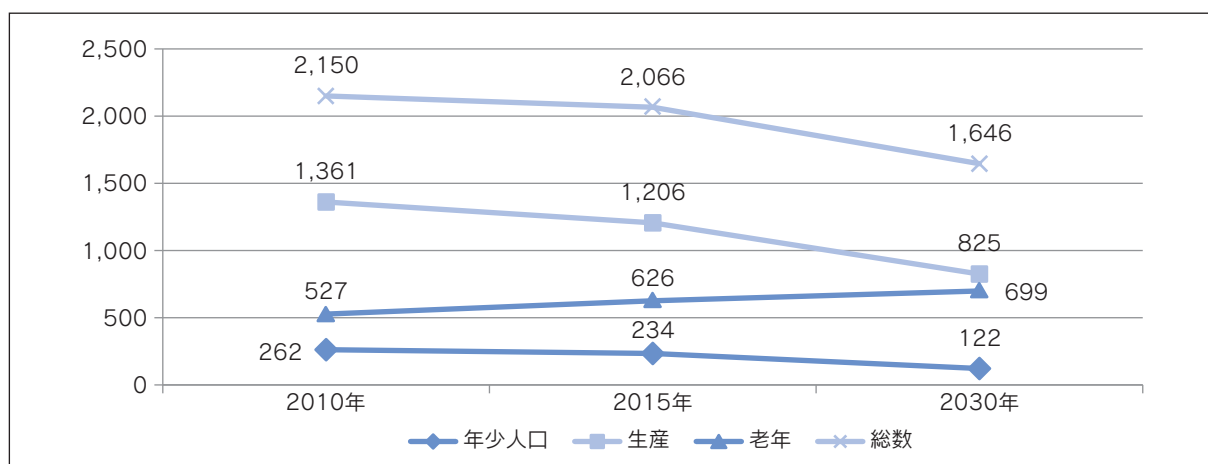
地域全体に広がる田園地帯は、ほ場整備事業やかんがい排水事業で整備され、当町の農業施策にも大きく貢献してきましたが、近年では担い手不足等により休耕田となっている場所も見られ、美しい農村の風景も変わりつつあります。

地域の住民は昔からこの地に住んでいる人が多く、冬場は国道45号沿い歩道を除雪したり、地域に手作り公園を整備するなど住民主体の地域づくり活動が多くみられます。

町では人口定住策を推進し、人口減少対策の取り組みを実施しています。

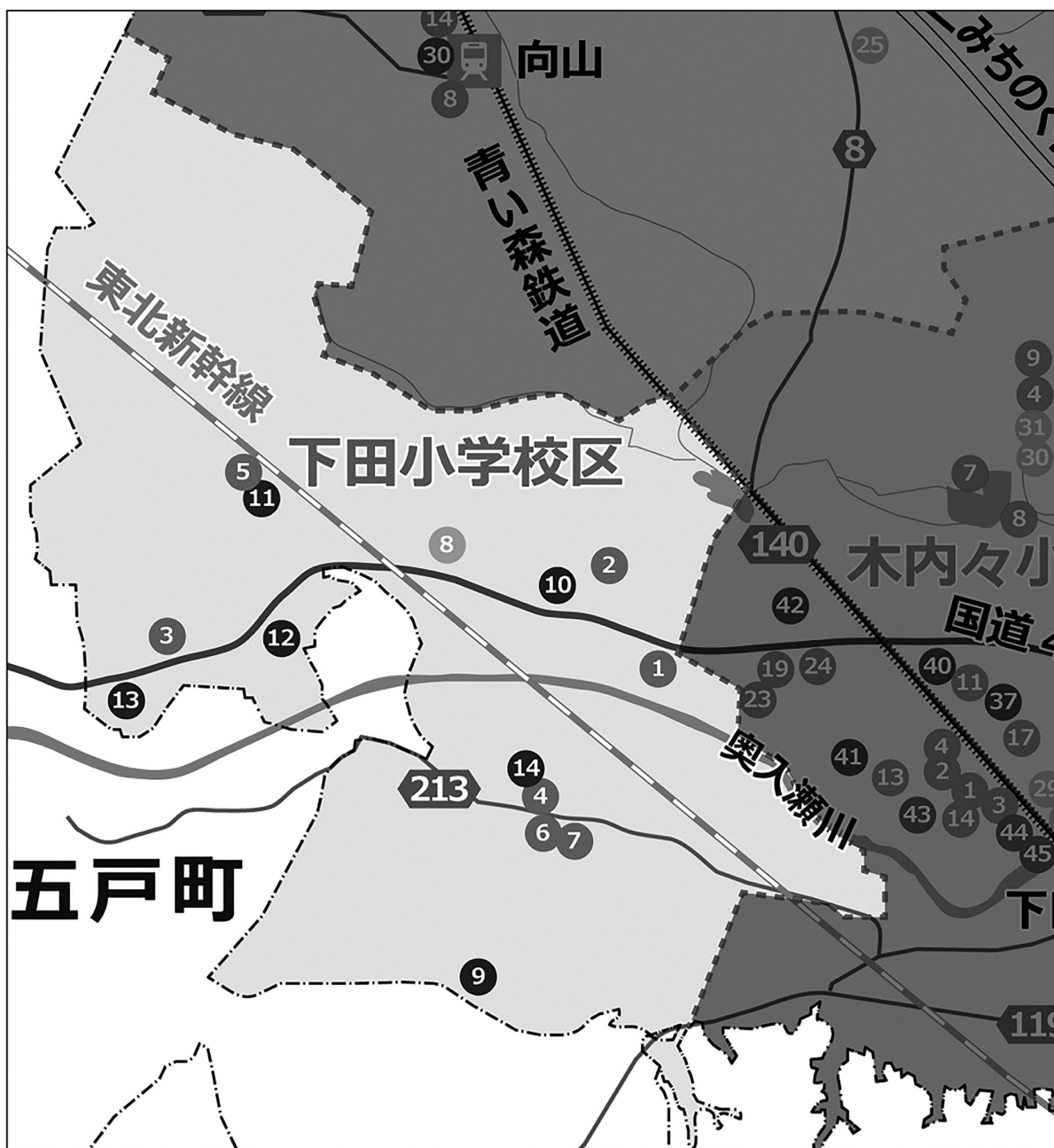
◆人口推移及び推計と高齢化率

下田小学校区の人口は2,150人から2,066人と、2010年(平成22年)から2015年(平成27年)の5年間で84人減少しました。今後もこの傾向が続くと、2030年(平成42年)には1,646人(15年間で420人、1年間で約28人の減)にまで減少することが予測されます。また、少子高齢化も進んでおり、2030年(平成42年)の高齢化率は42.5%になる見通しです。



年齢3区分	年	2010年	2015年	2030年	増減数 (2010⇒2030)	増減率 (2010⇒2030)
年少人口(～14)		12.2%	11.3%	7.4%	-140人	-4.8%
生産年齢人口(15～64)		63.3%	58.4%	50.1%	-536人	-13.2%
老年人口(65～)		24.5%	30.3%	42.5%	+172人	+18.0%

② 地域の主な公共的施設(下田小)



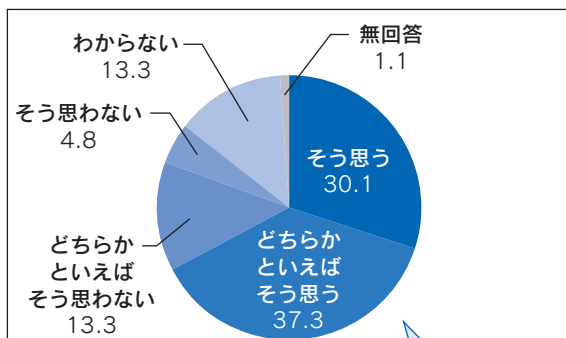
下田小学校区	
庁舎・公民館等	① おいらせ阿光坊古墳館
	② 阿光坊地区公園
	③ 新敷地区公園(瓢箪村公園)
学校・児童館・保育園等	④ 下田小学校
	⑤ 錦ヶ丘保育園
	⑥ 本村こども園
	⑦ 太陽児童クラブ(児童クラブ太陽館)
医療・保健・福祉施設等	⑧ 特別養護老人ホーム阿光坊の郷
町内会集会施設等	⑨ 鍋久保文化センター
	⑩ 阿光坊地区農事集会所
	⑪ 錦ヶ丘集会所
	⑫ 新敷集会所
	⑬ 洗平地区農業構造改善センター
	⑭ 本村地区コミュニティセンター伝承館

③ 地域住民の意向(下田小)

◆ アンケート調査

町民意識調査(N=83)

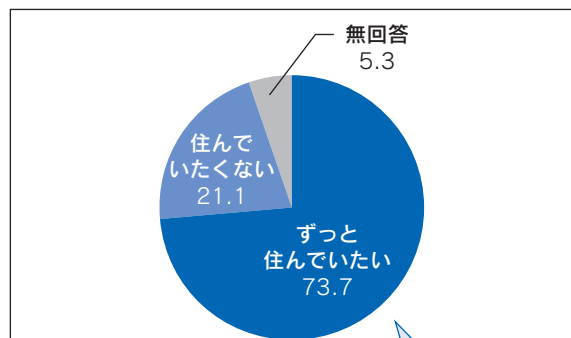
Q. おいらせ町には、長く住み続けられる魅力があると思いますか。



67.4%が魅力があると回答
【町全体:68.9%】

小学生まちづくりアンケート(N=19)

Q. 大人になってもおいらせ町にずっと住んでいたいと思いますか。



73.7%が住み続けたいと回答
【町平均:65.3%】



もとむらふれ愛公園



おいらせ阿光坊古墳館



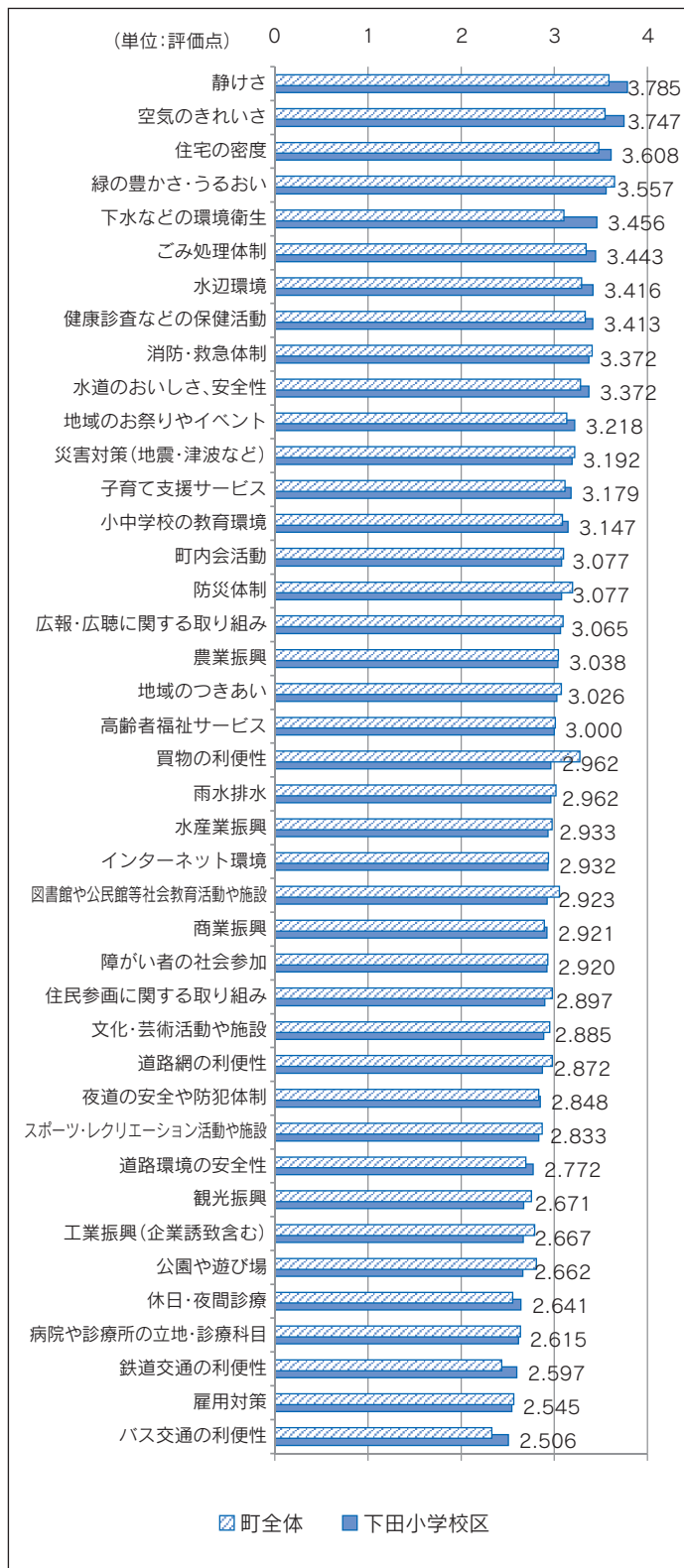
本村鶏舞



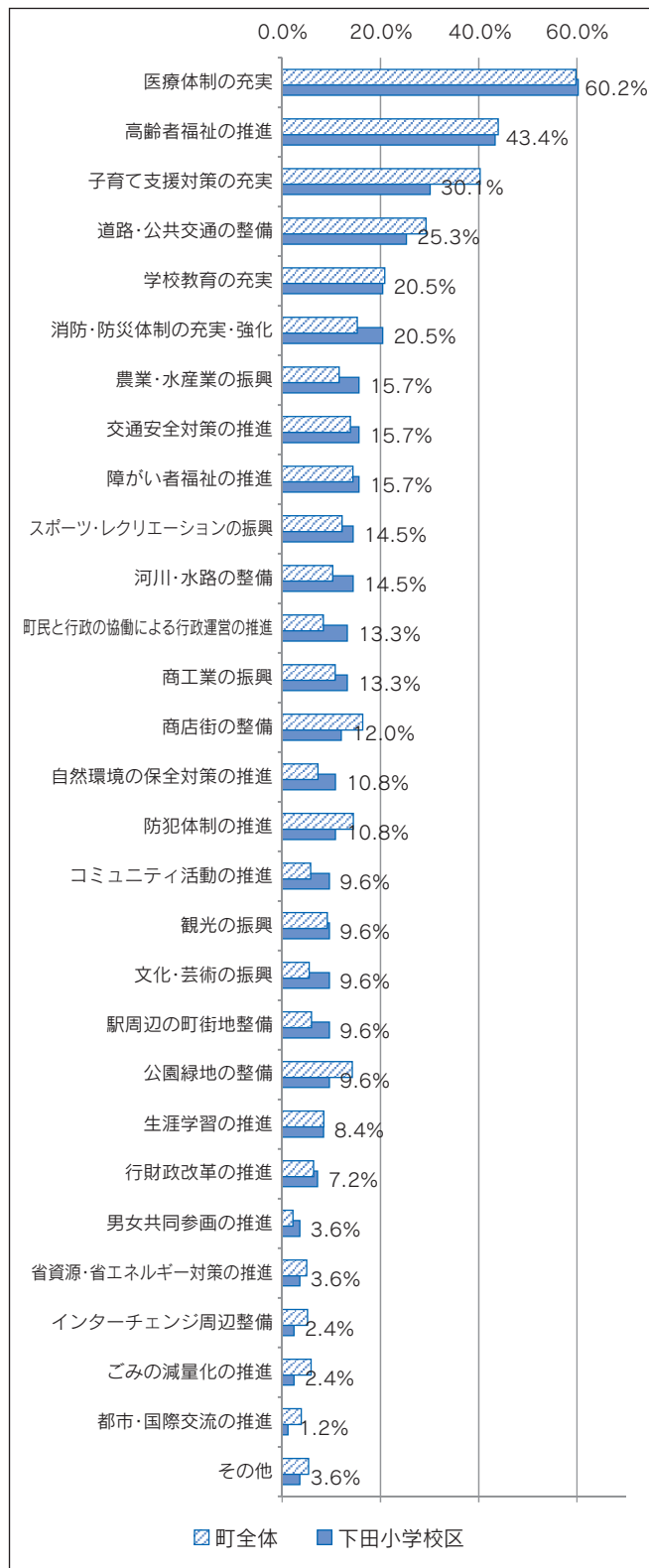
東北新幹線

《下田小学校区》

「住まいの環境」の満足度



まちづくりの課題



各環境について、どの程度満足しているのかを把握するため、町民意識調査を実施し、41項目ごと「満足」、「やや満足」、「普通」、「やや不満」、「不満」の5段階で評価してもらいました。満足度が低い3項目は、「鉄道交通の利便性」、「雇用対策」、「バス交通の利便性」でした。

④ 地域の課題と地域の方向性(下田小)

地区別懇談会のワークショップで話し合った意見をもとに、下田小学校区の①主な課題と②地域の課題を解決するための自助・共助の取り組みを4つのテーマで整理・集約しました。

◆ ①主な課題

	主な課題
(1)暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業の担い手の減少などにより耕作放棄地が増えている ・ 土地開発規制があるため、宅地開発できる土地がない ・ 町民バスの運行が少ないため不便である
(2)安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・ ひとり暮らし高齢者が増えている ・ 町民バスの運行が少ないため不便である ・ 車がすれ違えないような狭い道路や未整備の側溝があり、歩行者が危険である
(3)つながり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動に若い人や女性、子どもの参加が少なくなっている ・ 地域活動組織が高齢化してきている
(4)その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光地のPR不足 ・ 学区内に図書館がない ・ 駐車場が少ない

◆ ②地域の課題を解決するための取り組み(自助・共助)

	主な取り組み
(1)暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家の提供と活用を進める ・ 生きがいや仕事づくりに向けた野菜販売を行う ・ 自然・公園・文化を守り継承する ・ 下田小学校を活用して子育て環境の魅力アップ(充実)を図る
(2)安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども会で交通安全活動を行う ・ 自主防災組織で訓練を行う
(3)つながり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農家は出荷できない野菜等を子ども(食育)や高齢者の施設に提供する ・ 地区の活動に参加する ・ 生きがいや仕事づくりに向けた野菜販売を行う ・ 空き家の提供と活用を進める ・ 盆踊りなど地域住民の交流事業を継続し子どもの郷土愛を育む ・ ボランティア活動に参加する ・ 郷土芸能の継承を行う ・ 郷土料理(家庭料理)を祭などで提供し、食文化を子どもに伝える ・ 紙芝居など地域住民の交流行事を実施する ・ 地域への協力者を増やすために地域内で話し合いの場をつくる
(4)その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ いらない本を持ち寄り活用する

(4) 木内々小学校区

① 地域の概況

町の中央南側に位置する木内々小学校区は、奥入瀬川の南北に広がる田園景観を形成する農地を中心とした地域で、古くから水稻を中心とする農業が展開されてきた地域です。

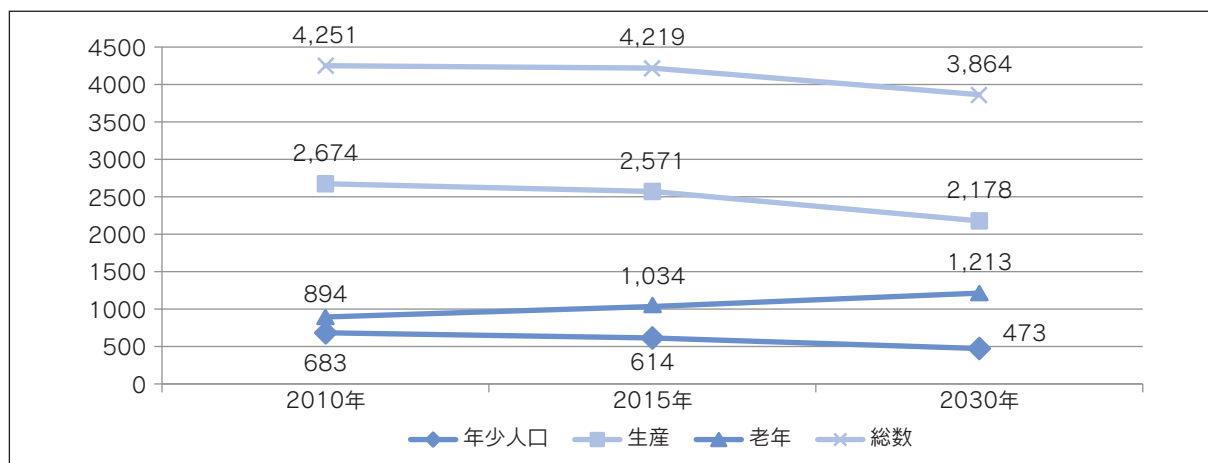
地区内の南側に県道119号、奥入瀬川を挟んで国道45号が地域内を東西に走っており、国道沿いや本庁舎周辺などにその地の利を活かして、工場や店舗等が立地していましたが、企業の撤退などにより未利用地が目立ってきており、その活用等も課題となっています。

その一方で、下田・百石インター周辺の郊外型大型SCは、田園地域の大規模な土地利用転換により、開発がすすめられた地域で、周辺への商業集積や住宅地の建設等に影響を及ぼしています。

地区内の北側には自然環境を保全しながら整備された八戸北丘陵下田公園があり、町民の憩いの場となっています。

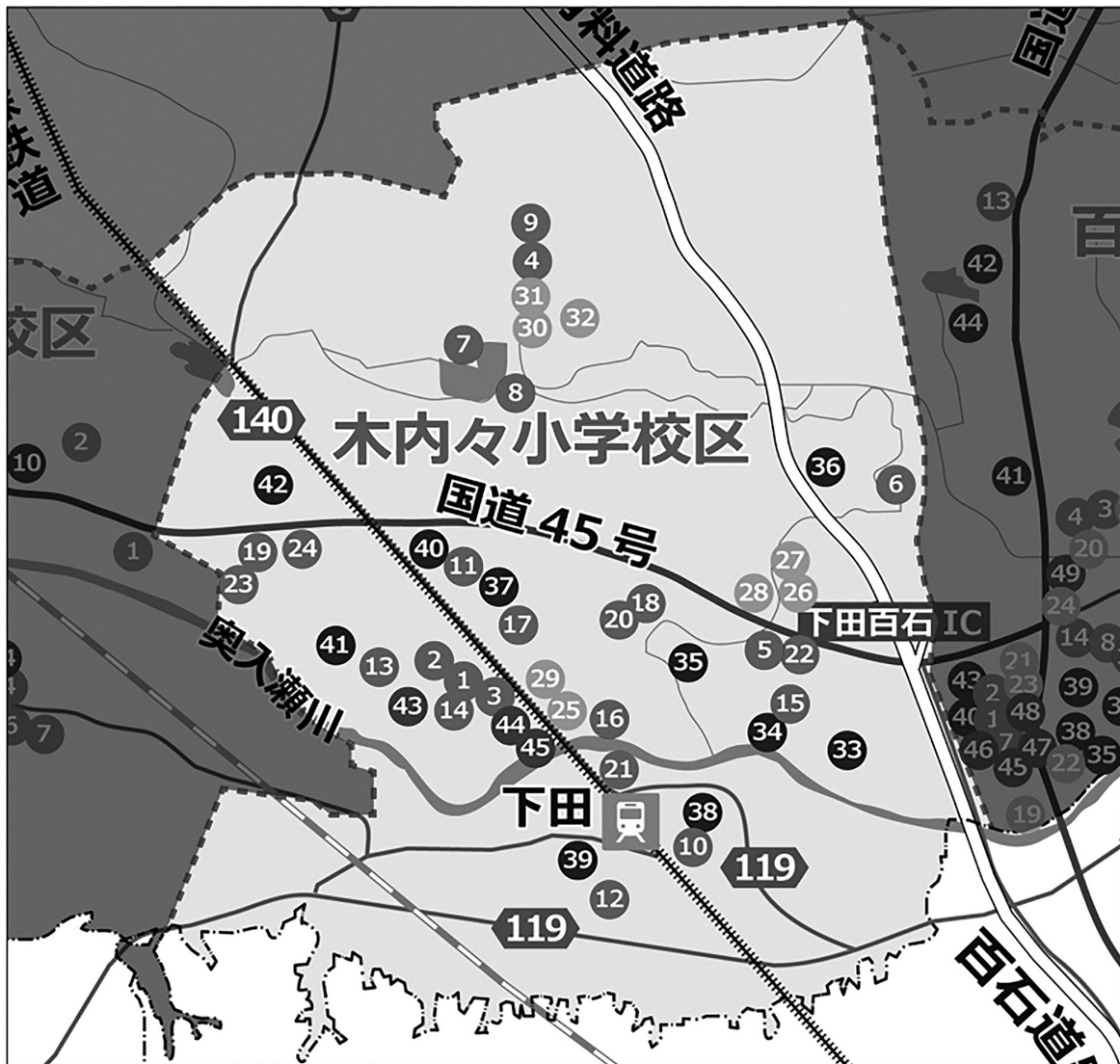
◆人口推移及び推計と高齢化率

木内々小学校区の人口は4,251人から4,219人と、2010年(平成22年)から2015年(平成27年)の5年間でほぼ人口の増減は見られませんでした。しかし、少子高齢化は進行しており、今後もこの傾向が続くと、2030年(平成42年)には3,864人(15年間で387人、1年間で26人の減)に減少することが予測されます。また、高齢化率は、2030年(平成42年)には31.4%になる見通しです。



年齢3区分	年			増減数 (2010⇒2030)	増減率 (2010⇒2030)
	2010年	2015年	2030年		
年少人口(～14)	16.1%	14.6%	12.2%	-210	-3.9%
生産年齢人口(15～64)	62.9%	60.9%	56.4%	-496	-6.5%
老年人口(65～)	21.0%	24.5%	31.4%	+319	+10.4%

② 地域の主な公共的施設(木内々小)



木内々小学校	
庁舎・公民館等	① おいらせ町役場本庁舎
	② 町民交流センター
	③ 中央公民館
	④ 農村環境改善センター
	⑤ おいらせ交番
	⑥ おいらせ消防署
	⑦ 下田公園
	⑧ 白鳥の家
	⑨ おいらせ町民プール
	⑩ 三田児童公園
	⑪ 曙児童公園
	⑫ 三本木児童公園
	⑬ 木内々公園
	⑭ 中下田緑地
	⑮ 秋堂地区公園
	⑯ しもだサーモンパーク
	⑰ 間木公園
学校・児童館・保育園等	⑱ 木内々小学校
	⑲ 下田中学校
	⑳ 木内々児童センターひまわり館
	㉑ 三田保育園
	㉒ おおぞら保育園
	㉓ 下田こども園
	㉔ 学校給食センター

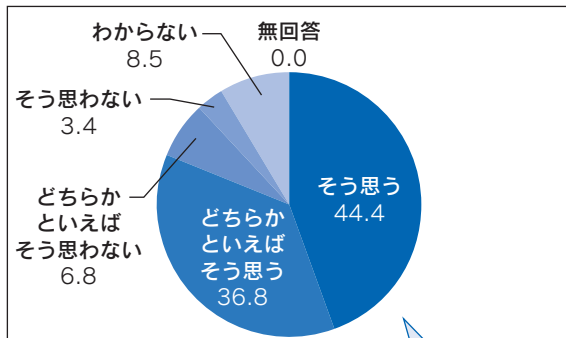
木内々小学校区		
医療・保健・福祉施設等	㉕ 下田診療所	
	㉖ ごんの医院	
	㉗ きくち眼科イオン下田	
	㉘ 柏崎歯科下田ショッピングセンター診療所	
	㉙ 老人福祉センター	
	㉚ 介護老人保健施設しもだ	
	㉛ グループホームわたぼうし	
	㉜ 住宅型有料老人ホーム しらとり荘	
	町内会集會施設等	㉝ 秋堂コミュニティセンター
		㉞ 木崎ふれあい館
		㉟ 染屋集會所
		㊱ 中野平集會所
㊲ 間木地区コミュニティセンター		
㊳ 三田會館		
㊴ 三本木ふれあい館		
㊵ 曙集會所		
金融機関等	㊶ 木内々コミュニティセンター	
	㊷ 有楽町集會所	
	㊸ 下田郵便局	
	㊹ 青い森信用金庫 おいらせ支店	
	㊺ J A 十和田おいらせ 下田支店	

③ 地域住民の意向(木内々小)

◆ アンケート調査

町民意識調査(N=117)

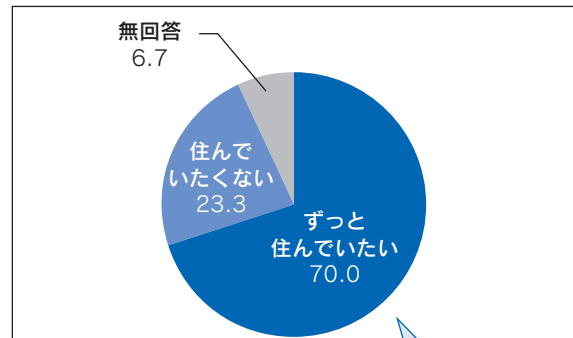
Q. おいらせ町には、長く住み続けられる魅力があると思いますか。



81.2%が魅力があると回答
【町全体:68.9%】

小学生まちづくりアンケート(N=30)

Q. 大人になってもおいらせ町にずっと住んでいたいと思いますか。



70.0%が住み続けたいと回答
【町平均:65.3%】



八戸北丘陵下田公園



おいらせ町民プール



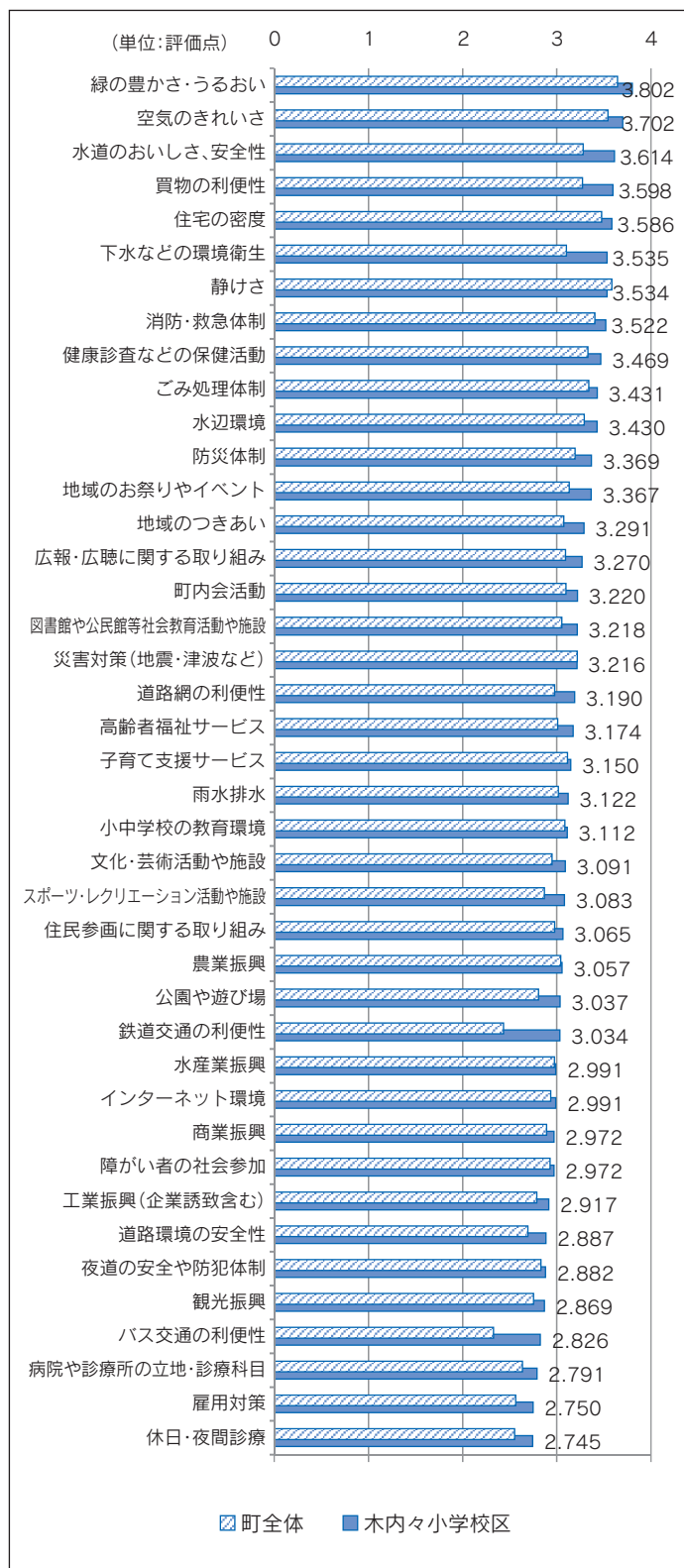
おいらせ鮭まつり



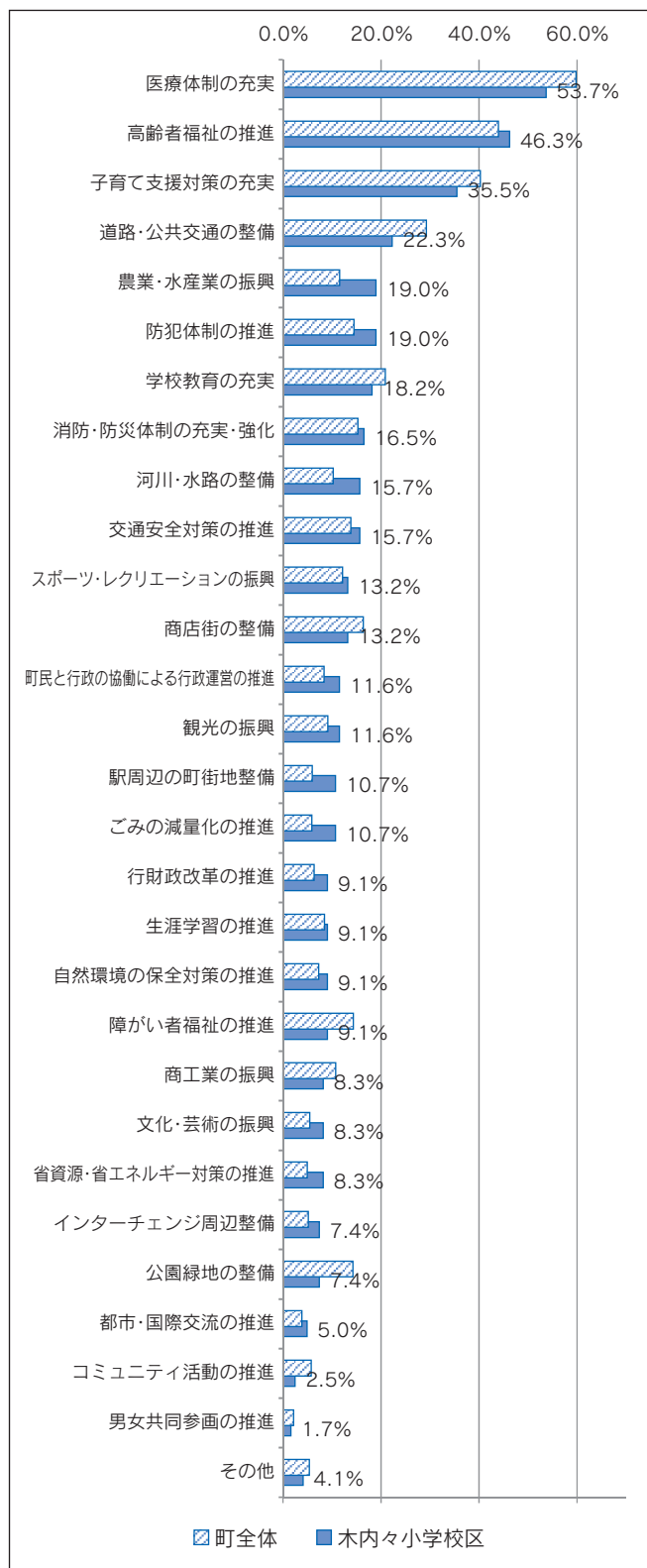
イオンモール下田

《木内々小学校区》

「住まいの環境」の満足度



まちづくりの課題



各環境について、どの程度満足しているのかを把握するため、町民意識調査を実施し、41項目ごとに「満足」、「やや満足」、「普通」、「やや不満」、「不満」の5段階で評価してもらいました。満足度が低い3項目は、「病院や診療所の立地・診療科目」、「雇用対策」、「休日・夜間診療」でした。

④ 地域の課題と地域の方向性(木内々小)

地区別懇談会のワークショップで話し合った意見をもとに、木内々小学校区の①主な課題と②地域の課題を解決するための自助・共助の取り組みを4つのテーマで整理・集約しました。

◆ ①主な課題

	主な課題	
(1)暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・草地や道路脇など管理不十分 ・奥入瀬川の河川敷が汚い ・仕事が少なく収入が安定しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物や鮭などの特産品も含め町全体の情報発信が不足しており強化する必要がある
(2)安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の危険性が少ない一方で津波に対する奥入瀬川流域住民の不安がある ・必要なところに信号がない 	
(3)つながり	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者が多くなっており、地域コミュニティの維持・運営に不安がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・人が集まれる場所が少ない ・地域の交流が薄れている
(4)その他	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン周辺だけ盛り上がっている 	

◆ ②地域の課題を解決するための取り組み(自助・共助)

	主な取り組み	
(1)暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の食材資源を使った新商品の開発を検討する ・地域の食材資源を使ったレシピ集を作成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティア活動を盛んにする(清掃活動) ・河川敷のクリーン運動
(2)安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・空き商店・空き家を活用した交流の場づくり ・老人クラブの活用などによるいきいきサロンの開催および活性化 ・高齢者の集まりやすい行事を開催し、声掛けと見守りを実施する ・食育を推進 ・子ども向け遊び場マップ作製 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育の徹底(自主防災会の活動強化、若い人を参加させる) ・地域ボランティアによる見守り組織の連携 ・子ども達の安全確保(登下校、防犯、交通安全) ・町内会長が空き家の持ち主に町の空き家バンク登録を促す
(3)つながり	<ul style="list-style-type: none"> ・奥入瀬川を活用した子どもの遊び場づくりを検討する ・祭りなどの参加区域を広げる ・地域のスポーツ大会の企画 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども会や食育にもつながる子ども参加型の自然体験の開催を検討する
(4)その他	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人の出会いの場を設ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの場をもっとつくる

(5)木ノ下小学校区

① 地域の概況

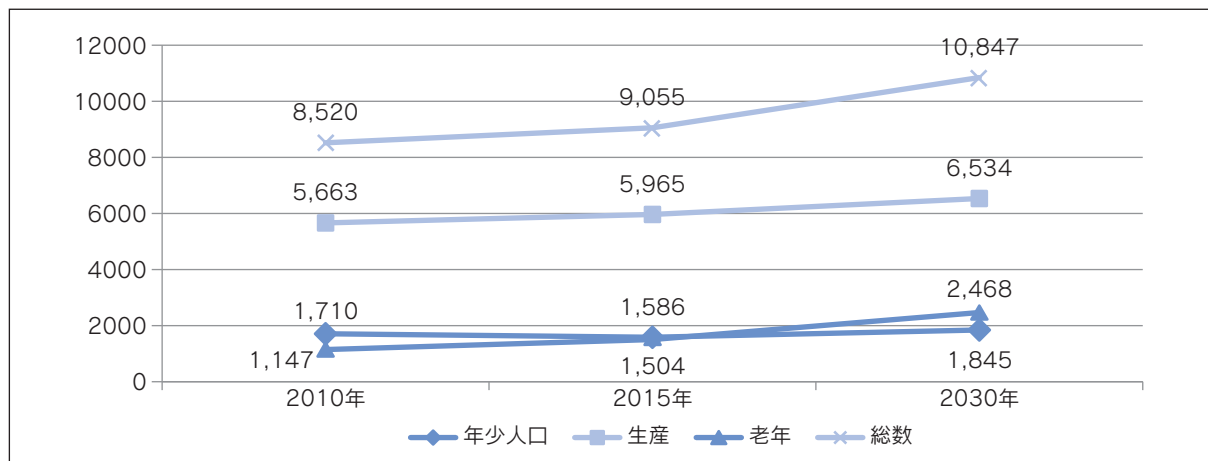
町の北西に位置する木ノ下小学校区は、三沢市に隣接しており、県道8号が南北に走り、青い森鉄道や第二みちのく有料道路が通過しています。またこの地区は、北部丘陵地として、広い洪積台地となっており、良質な土壌を活かした畑作や牧場などが盛んに行われてきました。

地区の北部は、平成5年度頃から急激に人口が増加しており、現在も民間活力による宅地・商業施設等が整備されています。この地区の人口増加は今後も微増傾向が続くと予想されていますが、土地利用規制等がない地区であることから住宅地が点在化しており、都市基盤施設の適切な配置・整備や優良農地の保全などが課題となっています。

コミュニティ活動が盛んな地区が多く、衰退した伝統芸能の復活やリサイクルの推進など自主的な活動も多くみられています。

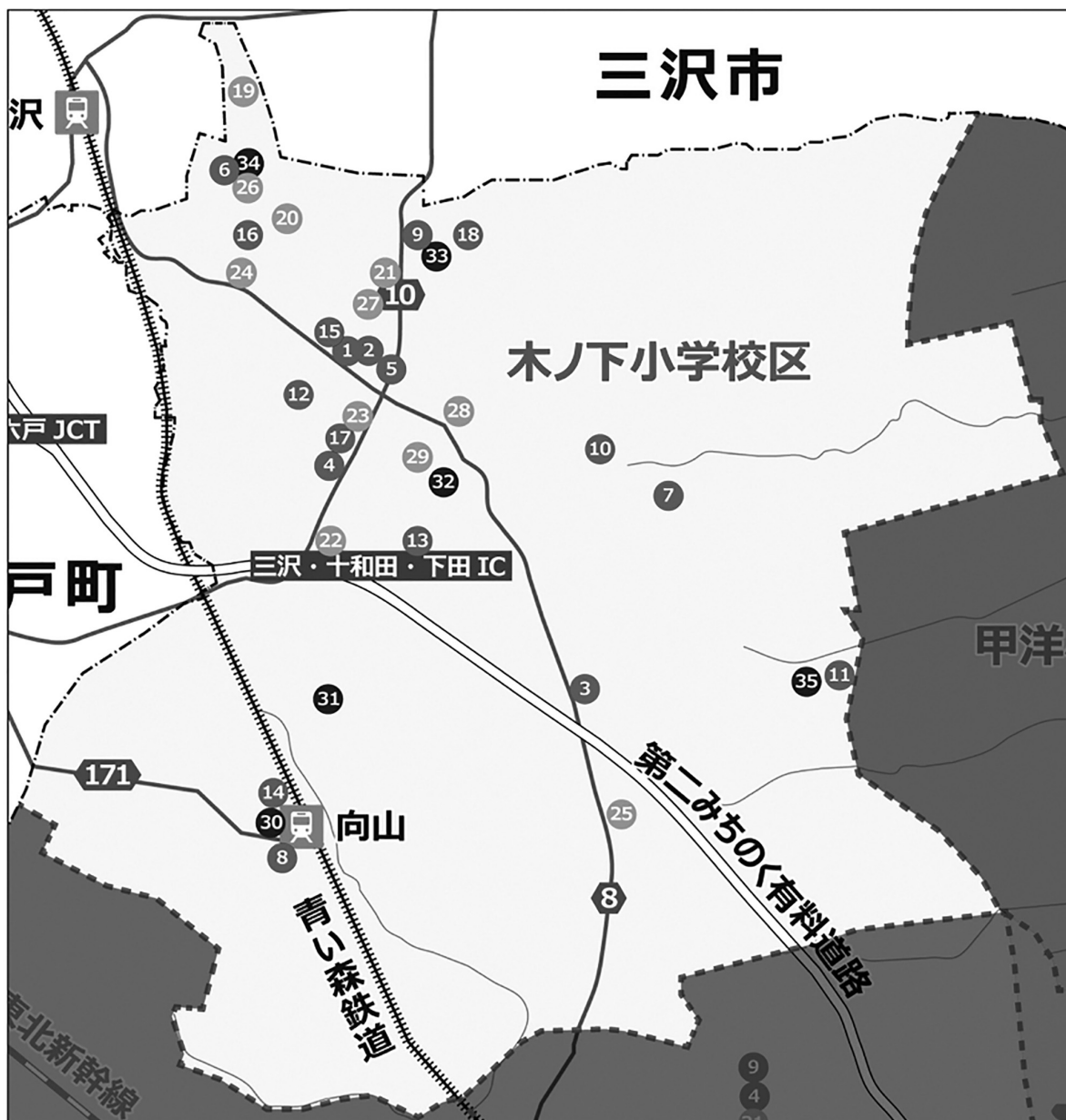
◆人口推移及び推計と高齢化率

木ノ下小学校区の人口は8,520人から9,055人と、2010年(平成22年)から2015年(平成27年)の5年間で535人増加しました。今後もこの傾向が続くと、2030年(平成42年)には10,847人(15年間で1,792人、1年間で119人の増)にまで増加することが予測されます。また、2030年(平成42年)の高齢化率は、22.8%になる見通しです。



年齢3区分	年			増減数 (2010⇒2030)	増減率 (2010⇒2030)
	2010年	2015年	2030年		
年少人口(～14)	20.0%	17.5%	17.0%	+135	-3.0%
生産年齢人口(15～64)	66.5%	65.9%	60.2%	+871	-6.3%
老年人口(65～)	13.5%	16.6%	22.8%	+1,321	+9.3%

② 地域の主な公共的施設(木ノ下小)



木ノ下小学校区	
庁舎・公民館等	① おいらせ町役場北部出張所
	② 北公民館
	③ おいらせ町営霊園
	④ おいらせ消防署北分遣所
	⑤ 青葉公園
	⑥ 住吉地区公園
	⑦ 木ノ下地区公園
	⑧ 向山ふれあい広場公園
	⑨ 鶉久保ふれあい広場公園
	⑩ 一里塚公園
学校・児童館・保育園等	⑪ 豊栄地区公園
	⑫ 木ノ下小学校
	⑬ 木ノ下中学校
	⑭ 向山児童館 (H31.4 から休館)
	⑮ 木ノ下児童センターみらい館
	⑯ 菜の花こども園
	⑰ しもだ幼稚園
	⑱ もりのか保育園

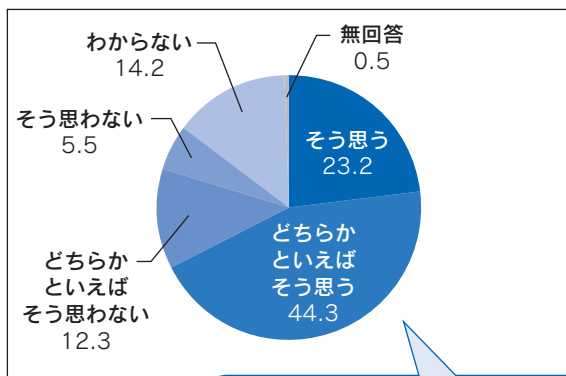
木ノ下小学校区	
医療・保健・福祉施設等	⑲ 青い森こどもアレルギークリニック
	⑳ こおり耳鼻科クリニック
	㉑ 下田東クリニック
	㉒ みさわの森クリニック
	㉓ めとき歯科医院
	㉔ あとむら歯科医院
	㉕ 特別養護老人ホーム木崎荘
	㉖ グループホームいごいの森
	㉗ 住宅型有料老人ホーム ガーデンプレイスおいらせ
	㉘ 住宅型有料老人ホーム Casa di cure VIVACE Uzurakubo
町内会集会所等	㉙ 住宅型有料老人ホーム マリーゴールド
	㉚ 向山集会所
	㉛ 豊原農事集会所
	㉜ 木ノ下ふれあい館
	㉝ 鶉久保地区農業構造改善センター
	㉞ 古間木山集会所
㉟ 豊栄地区コミュニティセンター	

③ 地域住民の意向(木ノ下小)

◆ アンケート調査

町民意識調査(N=366)

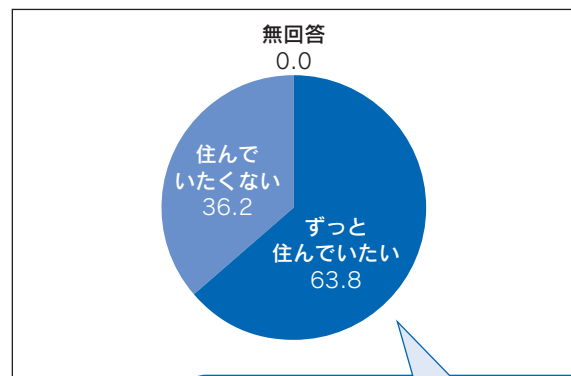
Q. おいらせ町には、長く住み続けられる魅力があると思いますか。



67.5%が魅力があると回答
【町全体:68.9%】

小学生まちづくりアンケート(N=105)

Q. 大人になってもおいらせ町にずっと住んでいたいと思いますか。



63.8%が住み続けたいと回答
【町平均:65.3%】



気比神社



青葉公園



アグリノ里



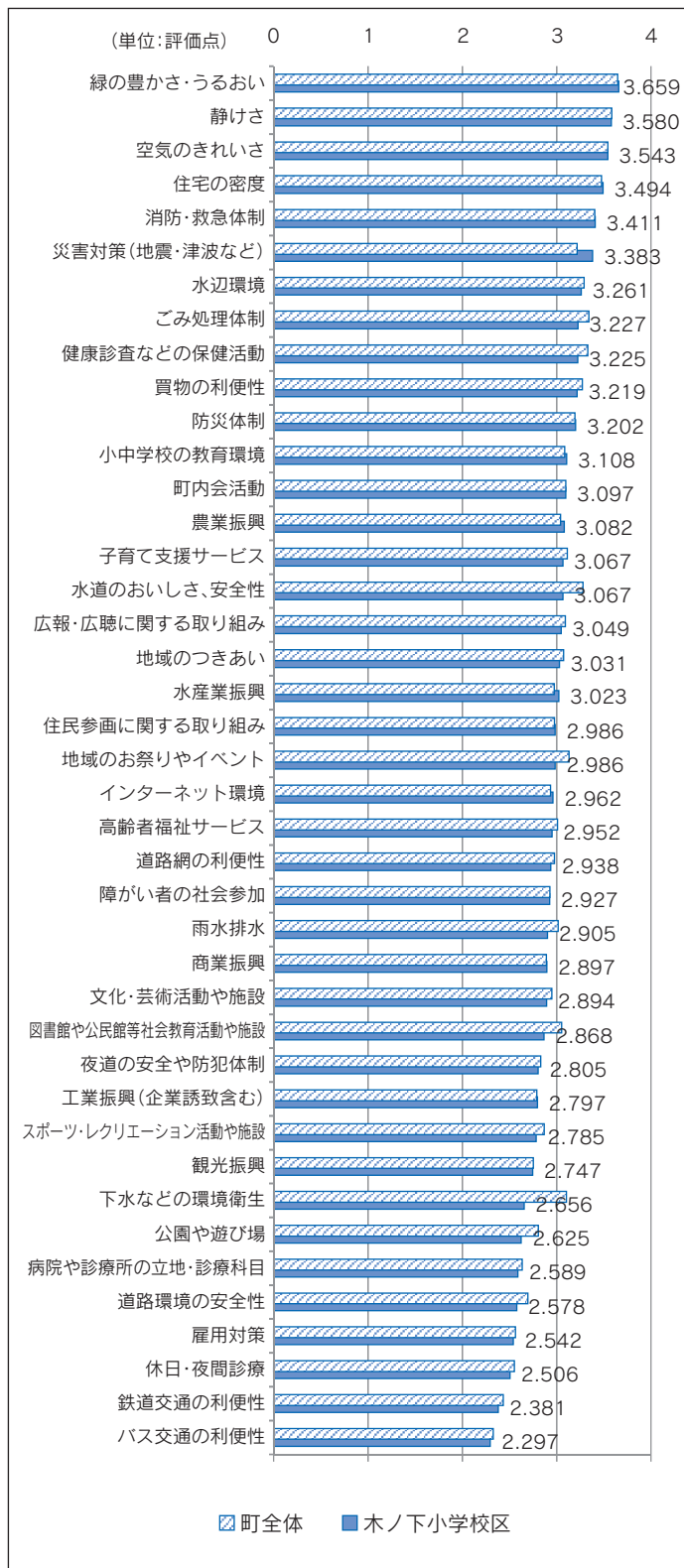
カワヨグリーン牧場



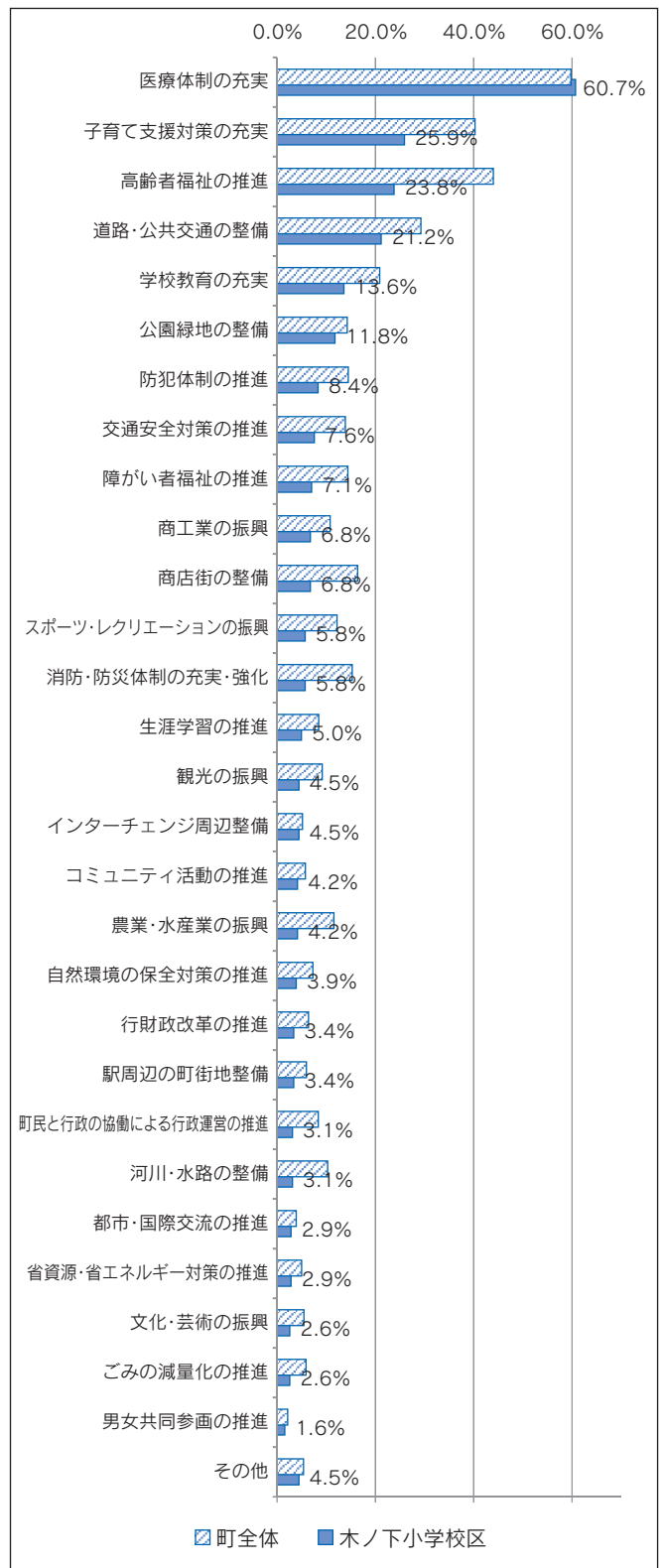
向山駅

《木ノ下小学校区》

「住まいの環境」の満足度



まちづくりの課題



各環境について、どの程度満足しているのかを把握するため、町民意識調査を実施し、41項目ごとに「満足」、「やや満足」、「普通」、「やや不満」、「不満」の5段階で評価してもらいました。満足度が低い3項目は、「休日・夜間診療」、「鉄道交通の利便性」、「バス交通の利便性」でした。

④ 地域の課題と地域の方向性(木ノ下小)

地区別懇談会のワークショップで話し合った意見をもとに、木ノ下小学校区の①主な課題と②地域の課題を解決するための自助・共助の取り組みを4つのテーマで整理・集約しました。

◆ ①主な課題

	主な課題	
(1)暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の増加 ・道路やインフラの未整備が多い ・公共交通が不便 ・公共マナーを守らない（ペットやごみ） ・子どもが戻ってきたくなくなるような魅力的な企業が少ない 	
(2)安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団や交番がなく不安 	
(3)つながり	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会未加入世帯の増加 ・子ども会の加入者の減少 ・独居老人、老人世帯の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流が少ない ・町のことを考える人が少ない ・町のことを知らない
(4)その他	<ul style="list-style-type: none"> ・議員が少ない 	

◆ ②地域の課題を解決するための取り組み(自助・共助)

	主な取り組み	
(1)暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・シェアハウスや健康づくり等で人が集まるように空き家の活用 ・コミュニティビジネスとして空き家の管理や高齢者支援を検討 ・戸建ての持ち主が空き家になる前に意思表示 ・ペット飼い主のマナー向上のための意識啓発 ・地域として除雪を協力して実施 ・ごみステーションの見守り活動の協力 ・公園の美化活動の推進 	
(2)安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ・防災については興味を持ってもらえるような防災訓練（小児・乳児心肺蘇生等）を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団や青年団の立ち上げの検討 ・防犯については既存のシステムの活性化（110番の家）
(3)つながり	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会活動の広報充実 ・町内会の加入説明会の実施 ・高齢者の孤立防止のための見守り活動 ・町内産の農水産物の地産地消の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動の活性化 ・母親の交流の場の設置 ・空き家を活用した集会施設の設置検討 ・地域リーダーの育成 ・町定住施策と連携した加入促進
(4)その他	—	